

令和2年12月期 中間決算短信（令和2年1月1日～令和2年6月30日）

令和2年9月14日

銘柄名	コード番号	連動対象指標	上場取引所	東京証券取引所
			主要投資資産	売買単位
WisdomTree ブロード上場投資信託	1684	ブルームバーグ総合商品指数	(注2)	10
WisdomTree エネルギー上場投資信託	1685	ブルームバーグエネルギー商品指数	天然ガス、原油、ガソリン、灯油	10
WisdomTree 産業用金属上場投資信託	1686	ブルームバーグ産業用金属商品指数	アルミニウム、銅、ニッケル、亜鉛	10
WisdomTree 農産物上場投資信託	1687	ブルームバーグ農産物商品指数	(注3)	10
WisdomTree 穀物上場投資信託	1688	ブルームバーグ穀物商品指数	小麦、とうもろこし、大豆	10
WisdomTree 天然ガス上場投資信託	1689	ブルームバーグ天然ガス商品指数	天然ガス	100
WisdomTree WTI原油上場投資信託	1690	ブルームバーグ WTI原油マルチセクター指数 (注1)	WTI原油	10
WisdomTree ガソリン上場投資信託	1691	ブルームバーグガソリン商品指数	ガソリン	10
WisdomTree アルミニウム上場投資信託	1692	ブルームバーグアルミニウム商品指数	アルミニウム	100
WisdomTree 銅上場投資信託	1693	ブルームバーグ銅商品指数	銅	10
WisdomTree ニッケル上場投資信託	1694	ブルームバーグニッケル商品指数	ニッケル	10
WisdomTree 小麦上場投資信託	1695	ブルームバーグ小麦商品指数	小麦	100
WisdomTree とうもろこし上場投資信託	1696	ブルームバーグとうもろこし商品指数	とうもろこし	100
WisdomTree 大豆上場投資信託	1697	ブルームバーグ大豆商品指数	大豆	10

(注1) 令和2年7月29日より、連動対象指標を『ブルームバーグ WTI原油マルチセクター指数』に変更しております。

(注2) 天然ガス、WTI原油、ブレンド原油、ガソリン、灯油、アルミニウム、銅、亜鉛、ニッケル、金、銀、生体牛、赤身豚肉、小麦、トウモロコシ、大豆、砂糖、綿花、コーヒー、大豆油

(注3) 小麦、トウモロコシ、大豆、砂糖、綿花、コーヒー、大豆油

外国投資法人 ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド

代表者名 クリストファー・フォールズ

管理会社 ウィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド

<https://www.wisdomtree.eu/en-gb/resource-library/prospectus-and-regulatory-reports#tab-2A942D>

代表者名 ステイブン・ロス

問合せ先責任者 TMI 総合法律事務所 (中川秀宣) TEL 03-6438-5660

有価証券報告書提出予定日 令和2年9月30日提出(予定)

分配金支払い開始予定日 該当なし

I ファンドの運用状況

1. 2020年12月中間決算期の運用状況（令和2年1月1日～令和2年6月30日）

(1)資産内訳

(百万円未満切捨て)

		主要投資資産		合計（資産）	
		金額	構成比	金額	構成比
WisdomTree ブロード上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	8,589	(100)	8,589	(100)
WisdomTree エネルギー上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	2,714	(100)	2,714	(100)
WisdomTree 産業用金属上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	7,125	(100)	7,125	(100)
WisdomTree 農産物上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	15,350	(100)	15,350	(100)
WisdomTree 穀物上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	21,913	(100)	21,913	(100)
WisdomTree 天然ガス上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	2,189	(100)	2,189	(100)
WisdomTree WTI原油上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	4,906	(100)	4,906	(100)
WisdomTree ガソリン上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	229,553	(100)	229,553	(100)
WisdomTree アルミニウム上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	650	(100)	650	(100)
WisdomTree 銅上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	375	(100)	375	(100)
WisdomTree ニッケル上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	2,467	(100)	2,467	(100)
WisdomTree 小麦上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	4,498	(100)	4,498	(100)
WisdomTree とうもろこし上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	31,268	(100)	31,268	(100)
WisdomTree 大豆上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	18,685	(100)	18,685	(100)
WisdomTree とうもろこし上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	28,126	(100)	28,126	(100)
WisdomTree とうもろこし上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	55,131	(100)	55,131	(100)
WisdomTree とうもろこし上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	5,435	(100)	5,435	(100)
WisdomTree とうもろこし上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	6,352	(100)	6,352	(100)
WisdomTree とうもろこし上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	2,878	(100)	2,878	(100)
WisdomTree とうもろこし上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	2,832	(100)	2,832	(100)
WisdomTree とうもろこし上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	1,215	(100)	1,215	(100)
WisdomTree とうもろこし上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円	%	百万円	%
	2019年12月中間決算期	967	(100)	967	(100)

---

(注) 主要投資資産は、令和2年8月31日午前零時（ロンドン時間2019年8月31日午後4時）現在のものとしてブルームバーグによって表示される為替レート（スポット・レート）（1米ドル=106.02円、1ポンド=141.945円）に基づいて円換算しています。（以下同じ）

## (2) 設定・償還実績

		前営業期間末 発行済口数 (①)	設定口数 (②)	償還口数 (③)	当営業期間末 発行済口数 (①+②-③)
WisdomTree ブロード上場 投資信託	2020年12月中間決算期	千口 18,853	千口 1,852	千口 8,565	千口 12,139
	2019年12月中間決算期	38,421	7,833	21,199	25,055
WisdomTree エネルギー上 場投資信託	2020年12月中間決算期	千口 8,578	千口 19,723	千口 15,289	千口 13,013
	2019年12月中間決算期	25,674	32,739	44,264	2,624
WisdomTree 産業用金属上 場投資信託	2020年12月中間決算期	千口 9,767	千口 7,914	千口 11,173	千口 6,508
	2019年12月中間決算期	24,452	40,455	48,507	16,399
WisdomTree 農産物上場投 資信託	2020年12月中間決算期	千口 53,024	千口 6,238	千口 17,296	千口 41,966
	2019年12月中間決算期	66,492	51,577	68,450	32,746
WisdomTree 穀物上場投資 信託	2020年12月中間決算期	千口 6,771	千口 2,032	千口 638	千口 8,165
	2019年12月中間決算期	6,740	1,544	1,469	6,890
WisdomTree 天然ガス上場 投資信託	2020年12月中間決算期	千口 2,007,070	千口 5,711,104	千口 4,116,452	千口 3,601,722
	2019年12月中間決算期	1,358,477	887,468	692,163	1,553,781
WisdomTree WTI原油上場投 資信託	2020年12月中間決算期	千口 57,427	千口 894,985	千口 372,321	千口 580,091
	2019年12月中間決算期	57,484	129,509	131,523	55,469
WisdomTree ガソリン上場 投資信託	2020年12月中間決算期	千口 156	千口 819	千口 565	千口 409
	2019年12月中間決算期	221	441	526	136
WisdomTree アルミニウム 上場投資信託	2020年12月中間決算期	千口 11,532	千口 11,206	千口 12,942	千口 9,796
	2019年12月中間決算期	36,108	57,087	77,975	15,220
WisdomTree 銅上場投資信 託	2020年12月中間決算期	千口 8,636	千口 11,138	千口 7,822	千口 11,952
	2019年12月中間決算期	7,914	13,843	14,729	7,028
WisdomTree ニッケル上場 投資信託	2020年12月中間決算期	千口 34,915	千口 4,865	千口 17,924	千口 21,856
	2019年12月中間決算期	23,918	26,097	7,461	42,554
WisdomTree 小麦上場投資 信託	2020年12月中間決算期	千口 82,397	千口 43,986	千口 36,362	千口 90,021
	2019年12月中間決算期	162,173	52,998	123,547	91,624
WisdomTree とうもろこし 上場投資信託	2020年12月中間決算期	千口 34,725	千口 19,393	千口 9,234	千口 44,884
	2019年12月中間決算期	67,929	22,872	61,117	29,684
WisdomTree 大豆上場投資 信託	2020年12月中間決算期	千口 542	千口 385	千口 173	千口 754
	2019年12月中間決算期	1,215	858	1,539	534

(注) 上記の設定・償還実績については、営業期末時点の未決済上場投信を含んでいません。

## (3) 基準価額

		総資産	負債 <sup>(注)</sup>	資産	売買単位当たり基準価額 ( (③/当営業期間末 発行済口数) × 売買単位)
WisdomTree ブロード上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 8,589	百万円 -	百万円 8,589	円 7,075
	2019年12月中間決算期	21,797	-	21,797	8,699
WisdomTree エネルギー上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 2,714	百万円 -	百万円 2,714	円 2,085
	2019年12月中間決算期	5,521	-	5,521	21,039
WisdomTree 産業用金属上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 7,125	百万円 -	百万円 7,125	円 10,949
	2019年12月中間決算期	19,451	-	19,451	11,860
WisdomTree 農産物上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 15,350	百万円 -	百万円 15,350	円 3,657
	2019年12月中間決算期	21,913	-	21,913	6,691
WisdomTree 穀物上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 2,189	百万円 -	百万円 2,189	円 26,817
	2019年12月中間決算期	2,293	-	2,293	33,278
WisdomTree 天然ガス上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 4,906	百万円 -	百万円 4,906	円 136
	2019年12月中間決算期	4,250	-	4,250	273
WisdomTree WTI原油上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 229,553	百万円 -	百万円 229,553	円 3,957
	2019年12月中間決算期	50,862	-	50,862	9,169
WisdomTree ガソリン上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 650	百万円 -	百万円 650	円 15,863
	2019年12月中間決算期	375	-	375	27,459
WisdomTree アルミニウム上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 2,467	百万円 -	百万円 2,467	円 25,190
	2019年12月中間決算期	4,498	-	4,498	29,553
WisdomTree 銅上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 31,268	百万円 -	百万円 31,268	円 26,160
	2019年12月中間決算期	18,685	-	18,685	26,584
WisdomTree ニッケル上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 28,126	百万円 -	百万円 28,126	円 12,868
	2019年12月中間決算期	55,131	-	55,131	12,955
WisdomTree 小麦上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 5,435	百万円 -	百万円 5,435	円 6,037
	2019年12月中間決算期	6,352	-	6,352	6,933
WisdomTree とうもろこし上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 2,878	百万円 -	百万円 2,878	円 6,414
	2019年12月中間決算期	2,832	-	2,832	9,541
WisdomTree 大豆上場投資信託	2020年12月中間決算期	百万円 1,215	百万円 -	百万円 1,215	円 16,101
	2019年12月中間決算期	967	-	967	18,116

- (注1) 売買単位は、総合商品指数、エネルギー商品指数、産業用金属商品指数、農産物商品指数、原油、ガソリン、銅、ニッケル、及び大豆については10口、穀物商品指数、天然ガス、アルミニウム、小麦及びとうもろこしについては100口となります。
- (注2) 商品上場投資信託1単位当たりの資産は、商品上場投資信託1単位当たりの基準価額に基づいたものとなります。商品上場投資信託1単位当たりの基準価額は、相応する商品上場投資信託1単位当たりの商品契約の価格に相当するものとなります。各々の商品上場投資信託の裏付けとなっている商品契約の総価値は、相応する商品上場投資信託の残高と等しくなります。このために、純資産額は零となり、総資産額は、商品上場投資信託の裏付けとなる商品契約の総額と等しくなります。

[参考] 外国投資法人の財政状態

	総資産額	総負債額	投資主持分額
	百万円	百万円	百万円
2020年12月中間決算期	496,984	498,779	-1,794
2019年12月中間決算期	368,153	370,832	-2,678

(注1) 商品上場投資信託は、期限の定めのない、請求権の限定されている発行体による債務です。全出資口は、親会社であるウィズダムツリー・ホールディングス（ジャージー）リミテッドにより保有されています。投資主持分額は、総資産額から総負債額を差し引いたものです。

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有・無
- ② ①以外の変更 有・無



# **WisdomTree Commodity Securities Limited**

**Registered No: 90959**

**Unaudited Interim Financial Report for the  
Six Months to 30 June 2020**



Contents

---

Directors' Report	1-5
Condensed Statement of Profit or Loss and Other Comprehensive Income	6
Condensed Statement of Financial Position	7
Condensed Statement of Cash Flows	8
Condensed Statement of Changes in Equity	9
Notes to the Condensed Interim Financial Statements	10-17

The directors of WisdomTree Commodity Securities Limited ("CSL" or the "Company"), formerly ETFS Commodity Securities Limited until a change of name on 26 September 2019, submit herewith the unaudited interim financial report and interim financial statements of the Company for the period ended 30 June 2020.

### Directors

The names and particulars of the directors of the Company during or since the end of the financial period are:

Stuart Bell  
 Christopher Foulds (Appointed 15 April 2020)  
 Hilary Jones (Resigned 15 April 2020)  
 Steven Ross  
 Peter Ziemba

### Directors' Interests

No director has an interest in the Ordinary Shares of the Company as at the date of this report.

### Principal Activities

During the period there were no significant changes in the nature of the Company's activities.

### Review of Operations

As at 30 June 2020 the Company had the following number of classes, in aggregate, of Commodity Securities in issue and admitted to trading on the following exchanges:

	London Stock Exchange	Borsa Italiana	Deutsche Börse	NYSE- Euronext Paris	NYSE- Euronext Amsterdam	Tokyo Stock Exchange	Bolsa Mexicana de Valores
Classic & Longer Dated Commodity Securities	44	31	34	9	-	14	1
Short & Leveraged Commodity Securities	30	30	18	-	4	-	-
<b>Total Commodity Securities</b>	<b>74</b>	<b>61</b>	<b>52</b>	<b>9</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>1</b>

As at 30 June 2020, the fair value of assets under management amounted to USD 4,656.7 million (31 December 2019: USD 2,752.4 million). The Company recognises its financial assets (Commodity Contracts) and financial liabilities (Commodity Securities) at fair value in the Condensed Statement of Financial Position.

During the period, the Company generated income from creation and redemption fees, management fees and licence allowance as follows:

	30 June 2020 USD	30 June 2019 USD
Creation and Redemption Fees	316,604	311,928
Management Fees and Licence Allowance	9,867,622	9,915,500
<b>Total Fee Income</b>	<b>10,184,226</b>	<b>10,227,428</b>

### Review of Operations (continued)

Under the terms of the service agreement with WisdomTree Management (Jersey) Limited (“ManJer” or the “Manager”), the Company accrued expenses equal to the management fees and licence allowance and creation and redemption fees, which, after taking into account other operating income and expenses, resulted in an operating result for the period of USD Nil (30 June 2019: USD Nil).

The gain or loss on Commodity Securities and Commodity Contracts is recognised in the Condensed Statement of Profit or Loss and Other Comprehensive Income in line with the Company’s accounting policies.

The Company has entered into contractual obligations to issue and redeem Commodity Securities at set prices on each trading day. These prices are based on an agreed formula published in the Prospectus, and are equal to the published net asset value (“NAV”) of each class of Commodity Security.

IFRS 13 requires the Company to identify the principal market and to utilise the available market price within that principal market. The directors consider that the stock exchanges where the Commodity Securities are listed to be the principal market and as a result the fair value of the Commodity Securities is the on-exchange price as quoted on those stock exchanges demonstrating active trading. As a result of the difference in valuation methodology between Commodity Contracts and Commodity Securities there is a mis-match between the accounting values, and the results of the Company reflect a gain or loss on the difference between the agreed formula price of the Commodity Contracts and the market price of Commodity Securities. This gain or loss would be reversed on a subsequent redemption of the Commodity Securities and cancellation of the corresponding Commodity Contracts. This is presented in more detail in note 6 to these interim financial statements.

#### *Coronavirus disease (COVID-19)*

On 11 March 2020, the Director-General of the World Health Organisation (“WHO”) announced that the WHO had assessed the worldwide outbreak of COVID-19 as a pandemic. National governments and supranational organisations in multiple states have taken steps designed to protect their populations from COVID-19, including requiring or encouraging home working, the cancellation of sporting, cultural and other events and restricting or discouraging gatherings of people. COVID-19 has created market turmoil and increased market volatility generally. The steps outlined above, and public sentiment, may affect both the volatility and prices of commodities and hence the prices of the Commodity Securities, and such effects may be significant and may be long-term in nature.

The directors are closely monitoring the advice and developments relating to the spread of COVID-19, which is fluid and rapidly changing. The WisdomTree group has, and continues to implement measures to maintain the ongoing safety and well-being of employees, whilst continuing to operate business as usual.

#### *Oil Markets*

Following an analysis of the potential impact of the price of Crude Oil WTI futures, the Company decided that a significant increase in the number of relevant Commodity Securities in issue may impact on the Commodity Contract Counterparties’ ability to hedge the exposure under the relevant Commodity Contracts in these particularly volatile markets. Having regard to the interests of existing Security Holders in the relevant Commodity Securities, rather than potential future Security Holders, a decision was made to focus the attention of the Commodity Contract Counterparties on providing (and hedging) the current exposures rather than taking on additional exposures during this volatile period. As a result, on 24 April 2020 the Company released an announcement to the Stock Exchanges that with effect from 2.30pm (London) the Company would temporarily no longer accept applications from Authorised Participants for new Short and Leveraged Commodity Securities of the following classes:

- WisdomTree WTI Crude Oil 2x Daily Leveraged (Ticker: LOIL, ISIN: JE00BDD9Q840); and
- WisdomTree WTI Crude Oil 1x Daily Short (Ticker: SOIL, ISIN: JE00B24DK975).

### Review of Operations (continued)

#### *Oil Markets (continued)*

On 30 April 2020 the Company released a further announcement to the Stock Exchanges that with effect from 2.30pm (London) the Company would temporarily no longer accept applications from Authorised Participants for new Classic and Longer Dated Commodity Securities of the following class:

- WisdomTree WTI Crude Oil (Ticker: CRUD, ISIN GB00B15KXV33).

The three classes of Commodity Securities named above collectively being the “Affected Securities”.

On 24 April 2020, Bloomberg announced a change to the Roll Period for the Bloomberg WTI Crude Oil Sub-Index<sup>SM</sup>. According to the announcement from Bloomberg, the Roll Period for changing the Lead Future from July to September for the Bloomberg WTI Crude Oil Sub-Index<sup>SM</sup> was scheduled to take place in June 2020. Bloomberg announced that this Roll Period would take place in May 2020, a month earlier than scheduled: Beginning on 8 May 2020 and ending on 14 May 2020, Bloomberg will roll the Designated Month Contract for the Lead Future from July to September for the Bloomberg WTI Crude Oil Sub-Index<sup>SM</sup>. The Affected Securities each provide exposure to the Bloomberg WTI Crude Oil Sub-Index<sup>SM</sup>.

On 1 July 2020 the Company released an announcement to the Stock Exchanges that with effect from 2.30pm (London) the Company would accept applications from Authorised Participants for WisdomTree WTI Crude Oil Securities, and on 3 September 2020 the Company released an announcement to the Stock Exchanges that with effect from 2.30pm (London) the Company would accept applications from Authorised Participants for WisdomTree WTI Crude Oil 2x Daily Leveraged Securities and WisdomTree WTI Crude Oil 1x Daily Short Securities.

Whilst the Company did not accept applications in the Affected Securities during the periods described, the Company continued to accept redemptions in the Affected Securities, and trading of the Affected Securities on Stock Exchanges continues. The market price of Commodity Securities is a function of supply and demand amongst investors wishing to buy and sell Commodity Securities and the bid-offer spread that the market makers are willing to quote. The action taken by the Company directly impacted the supply of those Affected Securities and therefore may have impacted the market price.

During June and July 2020 the Company released a series of announcements to the Stock Exchanges in respect of WisdomTree WTI Crude Oil (Ticker: CRUD, ISIN GB00B15KXV33) (“WTI Crude Securities”) regarding a change in the underlying index that WTI Crude Securities would reference, from the Bloomberg WTI Crude Oil Sub-Index<sup>SM</sup> to the Bloomberg WTI Crude Oil Multi-Tenor Excess Return Index. The Company announced the completion of the transition of the index on 4 August 2020. Furthermore, the Company also announced that terms of the WTI Crude Securities would be amended to include a Compulsory Redemption when Intra-day Price of the WTI Crude Securities falls to zero. These announcements followed circulars being sent out by the Company and a voting process by investors in accordance with the programme documents.

Whilst it is not currently possible to predict future market conditions and therefore determine if any further action may be required, the Company is continually assessing the market conditions and as a result of the continuing assessment of market conditions, the Company may be required to react to external events that could potentially impact other Commodity Securities in issue. The Company will make further announcements in due course should any further action be required. The action that may be required includes, but is not limited to, temporarily not accepting applications for Commodity Securities, temporarily suspending Commodity Securities from trading on Stock Exchanges or a Compulsory Redemption of Commodity Securities. Other than the actions outlined above, the Company has not initiated any of these further actions to date. Any such action will be undertaken in accordance with the constitutive documents of the Commodity Securities. Furthermore, there are mechanisms within the constitutive documents of the Commodity Securities that enable the Counterparties to request a Compulsory Redemption in certain circumstances as set out and explained within the prospectus.

## Future Developments

### *United Kingdom's ("UK's") withdrawal from the European Union ("EU")*

Pursuant to the European Referendum Act 2015, a referendum on the United Kingdom's membership of the EU was held on 23 June 2016 with the majority voting to leave the EU. On 29 March 2017, the UK Government exercised its right under Article 50 of the Treaty of the European Union. The UK left the EU on 31 January 2020, subject to a withdrawal agreement between the UK and the other EU Member States which provides for a transition period lasting until December 2020 during which EU law continues to apply to the UK as if it were a Member State may take place without any transitional arrangements in place.

The Company is domiciled in Jersey, outside of the EU, and the Commodity Securities are distributed in the EU under the EU Prospectus Directive which requires their offering to the public to be approved by an EU Member State regulator. To date, the Company has chosen the UK Financial Conduct Authority ("FCA") as its Member State regulator for these purposes. Request is then made to the FCA, as the chosen Member State regulator, for the passporting of the offering across the EU, once again, under the EU Prospectus Directive.

The Company is working with an alternate EU Member State regulator to obtain approval of its prospectus and request passporting for its offering to maintain the Company's access to relevant markets post the departure of the UK from the EU. As the Commodity Securities already comply with the European wide requirements of the EU Prospectus Directive, this is not expected to cause any disruption or alteration to the terms or nature of the Commodity Securities.

The Commodity Securities continue to comply with all applicable laws and regulations. The directors regularly assess the impact on the Company of the ongoing withdrawal process and consider that the decision to select an alternate EU Member State regulator substantially mitigates the key risks to the Company.

The directors are not aware of any other developments that might have a significant effect on the operations of the Company in subsequent financial periods not already disclosed in this report or the attached interim financial statements.

## Directors' Remuneration

No director has a service contract with the Company. The directors of the Company who are employees within the WisdomTree group do not receive separate remuneration in their capacity as directors of the Company. R&H Fund Services (Jersey) Limited ("R&H" or the "Administrator") receives a fee in respect of the directors of the Company who are employees of R&H.

The directors' fees which have been paid by ManJer on behalf of the Company for the period:

	<b>30 June 2020</b>	<b>30 June 2019</b>
	<b>GBP</b>	<b>GBP</b>
Stuart Bell	Nil	Nil
Christopher Foulds	1,680	Nil
Hilary Jones	2,320	4,000
Steven Ross	4,000	4,000
Peter Ziemba	Nil	Nil

## Going Concern

The nature of the Company's business dictates that the outstanding Commodity Securities may be redeemed at any time by the holder and in certain circumstances may be redeemed by the Company. As the redemption of Commodity Securities will coincide with the cancellation of an equal amount of Commodity Contracts, no net liquidity risk is considered to arise. All other expenses of the Company are met by ManJer. The directors are closely monitoring the advice and developments relating to the spread of COVID-19, particularly with its impact on ManJer, its assets under management, and therefore its related revenue streams, in respect of fulfilling the obligations under the services agreement. The directors consider the Company to be a going concern for the foreseeable future and have prepared the interim financial statements on this basis.

---

**Directors Statement**

With regard to the Disclosure Guidance and Transparency Rules of the Financial Conduct Authority, the directors confirm that to the best of their knowledge that:

- the interim financial statements for the period ended 30 June 2020 give a true and fair view of the assets, liabilities, financial position and profit or loss of the Company as required by law and in accordance with International Financial Reporting Standards as issued by the International Accounting Standards Board; and
- the Directors' Report gives a fair view of the development and performance of the Company's business, including financial position and the important events that have occurred during the period and their impact on these interim financial statements.

On behalf of the directors



**Steven Ross**

Director

Jersey

4 September 2020

	Notes	Period ended 30 June	
		2020 Unaudited USD	2019 Unaudited USD
Revenue	2	10,184,226	10,227,428
Expenses	2	(10,184,226)	(10,227,428)
<b>Operating Result</b>		-	-
Net Gain Arising on Contractual and Fair Value of Commodity Contracts	4	285,096,514	313,981,462
Net Loss Arising on Fair Value of Commodity Securities	5	(289,927,391)	(310,116,255)
<b>Result and Total Comprehensive (Expense)/Income for the Period</b>		<b>(4,830,877)</b>	<b>3,865,207</b>
<sup>1</sup> Adjustment from Market Value to Contractual Value (as set out in the Prospectus) of Commodity Securities	6	4,830,877	(3,865,207)
<b>Adjusted Result</b>		-	-

The directors consider the Company's activities as continuing.

<sup>1</sup> An explanation of the non-statutory and non-GAAP adjustment is set out on pages 13 to 15 This represents the movement in the difference between the Contractual Value of the Commodity Contracts and the market price of Commodity Securities.

The notes on pages 8 to 14 form part of these condensed interim financial statements

	Notes	As at	
		30 June 2020 Unaudited USD	31 December 2019 Audited USD
<b>Assets</b>			
Commodity Contracts	4	4,656,692,671	2,752,378,081
Amounts Receivable on Commodity Securities Awaiting Settlement	5	11,885,247	5,271,900
Amounts Receivable on Commodity Contracts Awaiting Settlement	4	15,744,512	6,742,278
Trade and Other Receivables		3,327,834	2,528,332
<b>Total Assets</b>		<b>4,687,650,264</b>	<b>2,766,918,589</b>
<b>Liabilities</b>			
Commodity Securities	5	4,673,620,027	2,764,472,560
Amounts Payable on Commodity Contracts Awaiting Settlement	4	11,885,247	5,271,900
Amounts Payable on Commodity Securities Awaiting Settlement	5	15,744,512	6,742,276
Trade and Other Payables		3,327,832	2,528,330
<b>Total Liabilities</b>		<b>4,704,577,618</b>	<b>2,779,015,066</b>
<b>Equity</b>			
Stated Capital		2	2
Revaluation Reserve		(16,927,356)	(12,096,479)
<b>Total Equity</b>		<b>(16,927,354)</b>	<b>(12,096,477)</b>
<b>Total Equity and Liabilities</b>		<b>4,687,650,264</b>	<b>2,766,918,589</b>

The assets and liabilities in the above Condensed Statement of Financial Position are presented in order of liquidity from most to least liquid.

The condensed interim financial statements on pages 6 to 17 were approved and authorised for issue by the board of directors and signed on its behalf on 4 September 2020.



**Steven Ross**  
Director



	Period ended 30 June	
	2020 Unaudited USD	2019 Unaudited USD
<b>Operating Result for the Period</b>	-	-
Cash Generated from Operating Activities	-	-
<b>Net Increase in Cash and Cash Equivalents</b>	-	-
Cash and Cash Equivalents at the Beginning of the Period	-	-
Net Increase in Cash and Cash Equivalents	-	-
<b>Cash and Cash Equivalents at the End of the Period</b>	-	-

Commodity Securities are issued through a direct transfer of cash directly from the Authorised Participant to the Commodity Contract Counterparties or redeemed by the direct transfer of cash by the Commodity Contract Counterparties to the Authorised Participant. As such the Company is not a party to any cash transactions. The creations and redemptions of Commodity Securities and additions and disposals of Commodity Contracts, which are non-cash transactions for the Company, are disclosed in notes 4 and 5 respectively in the reconciliation of opening to closing Commodity Securities and Commodity Contracts.

The Company has entered into a service agreement with WisdomTree Management Jersey Limited (“ManJer” or the “Manager”), whereby ManJer is responsible for supplying or procuring the supply of all management and administration services required by the Company, (including marketing) as well as the payment of costs relating to the listing and issue of Commodity Securities. In return for these services, the Company has an obligation to remunerate ManJer with an amount equal to the aggregate of the management fee, licence allowance and the creation and redemption fees (the “ManJer Fee”). As a result, amounts in respect of the management fee and licence allowance are transferred directly to ManJer by the Commodity Contract Counterparties under the terms of the Commodity Contracts and ManJer receives creation and redemption fees directly from Authorised Participants. Accordingly there are no cash flows through the Company.

	Notes	Stated Capital USD	Retained Earnings USD	Revaluation Reserve <sup>2</sup> USD	Total Equity USD	Adjusted Total Equity USD
Audited Opening Balance at 1 January 2019		2	-	(29,133,562)	(29,133,560)	2
Result and Total Comprehensive Income for the Period		-	3,865,207	-	3,865,207	3,865,207
Transfer to Revaluation Reserve		-	(3,865,207)	3,865,207	-	-
<sup>3</sup> Adjustment from Market Value to Contractual Value (as set out in the Prospectus) of Commodity Securities		-	-	-	-	(3,865,207)
<b>Unaudited Balance at 30 June 2019</b>		<b>2</b>	<b>-</b>	<b>(25,268,355)</b>	<b>(25,268,353)</b>	<b>2</b>
Unaudited Opening Balance at 1 July 2019		2	-	(25,268,355)	(25,268,355)	2
Result and Total Comprehensive Income for the Period		-	13,171,876	-	13,171,876	13,171,876
Transfer to Revaluation Reserve		-	(13,171,876)	13,171,876	-	-
<sup>3</sup> Adjustment from Market Value to Contractual Value (as set out in the Prospectus) of Commodity Securities		-	-	-	-	(13,171,876)
<b>Audited Balance at 31 December 2019</b>		<b>2</b>	<b>-</b>	<b>(12,096,479)</b>	<b>(12,096,477)</b>	<b>2</b>
Audited Opening Balance at 1 January 2020		2	-	(12,096,479)	(12,096,477)	2
Result and Total Comprehensive Income for the Period		-	(4,830,877)	-	(4,830,877)	(4,830,877)
Transfer to Revaluation Reserve	6	-	4,830,877	(4,830,877)	-	-
<sup>3</sup> Adjustment from Market Value to Contractual Value (as set out in the Prospectus) of Commodity Securities	6	-	-	-	-	4,830,877
<b>Unaudited Balance at 30 June 2020</b>		<b>2</b>	<b>-</b>	<b>(16,927,356)</b>	<b>(16,927,354)</b>	<b>2</b>

<sup>2</sup> This represents the difference between the Contractual Value of the Commodity Contracts and the market price of Commodity Securities.

<sup>3</sup> An explanation of the non-statutory and non-GAAP adjustment is set out on pages 13 to 15.

The notes on pages 8 to 14 form part of these condensed interim financial statements

## 1. Accounting Policies

The main accounting policies of the Company are described below.

### Basis of Preparation

The interim financial statements for the six months ended 30 June 2020 have been prepared in accordance with IAS 34 “Interim Financial Reporting” as issued by the International Accounting Standards Board (“IASB”) and interpretations issued by the International Financial Reporting Interpretations Committee of the IASB. The interim financial statements have been prepared under the historical cost convention, as modified by the revaluation of financial assets and financial liabilities held at fair value through profit or loss.

The interim financial statements do not include all the information and disclosures required in the annual financial statements and should be read in conjunction with the Company’s annual financial statements for the year ended 31 December 2019. Except as described below under *Changes in Accounting Standards* the accounting policies adopted are consistent with those of the annual financial statements for the year ended 31 December 2019. The changes in accounting policies are also expected to be reflected in the financial statements for the year ended 31 December 2020.

The presentation of interim financial statements in conformity with International Financial Reporting Standards (“IFRSs”) requires the use of certain critical accounting estimates. It also requires management to exercise its judgement in the process of applying the Company’s accounting policies.

The Company makes estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities. Estimates are continually evaluated and based on historical experience and other factors, including expectations of future events that are believed to be reasonable under the circumstances. The only key accounting judgement required to prepare these interim financial statements is in respect of the valuation of Commodity Contracts and Commodity Securities held at fair value through profit or loss as disclosed in notes 4, 5 and 6. Actual results could vary from these estimates.

This half yearly report has not been audited or reviewed by the Company’s auditors.

### Changes in Accounting Standards

On 1 January 2020 the Company adopted all applicable annual improvements to IFRSs and have assessed that the adoption of these revised and amended accounting standards has not resulted in any changes to the accounting policies and disclosures within these financial statements.

## 2. Operating Result

Operating result for the period comprised:

	Period ended 30 June	
	2020 Unaudited USD	2019 Unaudited USD
Management Fees	9,038,963	9,093,433
Licence Allowance	828,659	822,067
Creation and Redemption Fees	316,604	311,928
<b>Total Revenue</b>	<b>10,184,226</b>	<b>10,227,428</b>
ManJer Fees	(10,184,226)	(10,227,428)
<b>Total Operating Expenses</b>	<b>(10,184,226)</b>	<b>(10,227,428)</b>
<b>Operating Result</b>	<b>-</b>	<b>-</b>

### 3. Segmental Reporting

The Company reports information on its operations for each of the Company's business segments only, as the Company only has one geographic segment which is Europe. In addition the Company has no single major customer from which greater than 10% of revenue is generated. The directors believe that the Company has two operating segments; Classic & Longer Dated and Short & Leveraged. The Company earns revenues from each of these sources.

<b>For the period ended 30 June 2020 Unaudited</b>	<b>Classic &amp; Longer Dated USD</b>	<b>Short &amp; Leveraged USD</b>	<b>Total USD</b>
Management Fees	6,449,477	2,589,486	9,038,963
Licence Allowance	594,636	234,023	828,659
Creation and Redemption Fees	164,517	152,087	316,604
Total Revenue	<u>7,208,630</u>	<u>2,975,596</u>	<u>10,184,226</u>
Total Operating Expenses	<u>(7,208,630)</u>	<u>(2,975,596)</u>	<u>(10,184,226)</u>
<b>Segmental Result</b>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
<b>For the period ended 30 June 2019 Unaudited</b>	<b>Classic &amp; Longer Dated USD</b>	<b>Short &amp; Leveraged USD</b>	<b>Total USD</b>
Management Fees	7,019,083	2,074,350	9,093,433
Licence Allowance	716,233	105,834	822,067
Creation and Redemption Fees	156,605	155,323	311,928
Total Revenue	<u>7,891,921</u>	<u>2,335,507</u>	<u>10,227,428</u>
Total Operating Expenses	<u>(7,891,921)</u>	<u>(2,335,507)</u>	<u>(10,227,428)</u>
<b>Segmental Result</b>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>

Additional information relating to the assets and liabilities associated with these securities is disclosed in notes 4, 5 and 6.

### 4. Commodity Contracts

<b>Change in Fair Value</b>	<b>Period ended 30 June</b>	
	<b>2020 Unaudited USD</b>	<b>2019 Unaudited USD</b>
Classic & Longer Dated Commodity Contracts	209,362,470	280,492,939
Short & Leveraged Commodity Contracts	75,734,044	33,488,523
	<u>285,096,514</u>	<u>313,981,462</u>

4. Commodity Contracts (continued)

Fair Value of Commodity Contracts

	As at	
	30 June 2020 Unaudited USD	31 December 2019 Audited USD
Classic & Longer Dated Commodity Contracts	4,078,932,911	2,474,746,715
Short & Leveraged Commodity Contracts	577,759,760	277,629,366
<b>Total Commodity Contracts</b>	<b>4,656,692,671</b>	<b>2,752,376,081</b>

As at 30 June 2020, there were certain Commodity Contracts awaiting settlement in respect of the creation or redemption of Commodity Securities with transaction dates before the period end and settlement dates in the following period:

- The amount payable on Commodity Contracts as a result of unsettled creations of Commodity Securities is USD 11,885,247 (31 December 2019: USD 5,271,900).
- The amount receivable on Commodity Contracts as a result of unsettled redemptions of Commodity Securities is USD 15,744,512 (31 December 2019: USD 6,742,276).

The below reconciliation of changes in the Commodity Contracts includes only non-cash changes.

	Period ended 30 June	
	2020 Unaudited USD	2019 Unaudited USD
<b>Opening Commodity Contracts</b>	<b>2,752,376,081</b>	<b>3,091,983,052</b>
Additions	5,524,134,958	2,843,157,039
Disposals	(3,895,047,260)	(3,077,503,941)
Management Fee	(9,867,622)	(9,915,500)
Change in Fair Value	285,096,514	313,981,462
<b>Closing Commodity Contracts</b>	<b>4,656,692,671</b>	<b>3,161,702,112</b>

5. Commodity Securities

Change in Fair Value

	Period ended 30 June	
	2020 Unaudited USD	2019 Unaudited USD
Classic & Longer Dated Commodity Contracts	(210,205,734)	(277,148,540)
Short & Leveraged Commodity Contracts	(79,721,657)	(32,967,715)
	<b>(289,927,391)</b>	<b>(310,116,255)</b>

Fair Value of Commodity Securities

	As at	
	30 June 2020 Unaudited USD	31 December 2019 Audited USD
Classic & Longer Dated Commodity Contracts	4,089,604,621	2,484,575,162
Short & Leveraged Commodity Contracts	584,015,407	279,897,398
<b>Total Commodity Contracts</b>	<b>4,673,620,027</b>	<b>2,764,472,560</b>

## 5. Commodity Securities (continued)

As at 30 June 2020, there were certain Commodity Securities awaiting settlement in respect of creations or redemptions with trade dates before the period end and settlement dates in the following period:

- The amount payable as a result of unsettled redemptions of Commodity Securities is USD 15,744,512 (31 December 2019: USD 6,742,276).
- The amount receivable as a result of unsettled creations of Commodity Securities is USD 11,885,247 (31 December 2019: USD 5,271,900).

The below reconciliation of changes in the Commodity Securities, being liabilities arising from financing activities, includes only non-cash changes.

	Period ended 30 June	
	2020 Unaudited USD	2019 Unaudited USD
<b>Opening Commodity Securities</b>	<b>2,764,472,560</b>	<b>3,121,116,614</b>
Additions	5,524,134,958	2,843,157,039
Disposals	(3,895,047,260)	(3,077,503,941)
Management fee	(9,867,622)	(9,915,500)
Change in fair value	289,927,391	310,116,255
<b>Closing Commodity Securities at Fair Value</b>	<b>4,673,620,027</b>	<b>3,186,970,468</b>

## 6. Adjustment from Market Value to Contractual Value of Commodity Securities

The Commodity Contracts are priced by reference to the value of the commodity indices calculated and published by Bloomberg L.P. or Bloomberg Finance L.P. (together "Bloomberg") and a multiplier calculated by the Company and agreed with the Commodity Contract Counterparties. The multiplier takes into account the daily accrual of the management fee, licence allowance and swap spread as well as the incremental capital enhancement component of the Commodity Security, and is the same across all Commodity Securities of the same type (i.e. all Classic Commodity Securities use the same multiplier). This price is calculated based on the formula set out in the Prospectus, and is referred to as the 'Contractual Value'.

The Company measures the Commodity Securities at their market value rather than their Contractual Value (as described in the Prospectus) because IFRS 13 requires the Company to identify the principal market and to utilise the available market price within that principal market. The directors consider that the stock exchanges where the Commodity Securities are listed to be the principal market and as a result the fair value of the Commodity Securities is the on-exchange price as quoted on those stock exchanges demonstrating active trading.

Consequently a difference arises between the value of Commodity Contracts (at Contractual Value) and Commodity Securities (at market value) presented in the Statement of Financial Position. This difference is reversed on a subsequent redemption of the Commodity Securities and cancellation of the corresponding Commodity Contracts.

Whilst the Commodity Securities are quoted on the open market, the Company's liability relates to its contractual obligations to issue and redeem Commodity Securities at set prices on each trading day and the prices are equal to the published NAVs of each class of Commodity Security. The actual contractual issue and redemption of Commodity Securities occur at a price that corresponds to gains or losses on the Commodity Contracts and as a result the Company has no net exposure to gains or losses on the Commodity Securities and Commodity Contracts.

**6. Adjustment from Market Value to Contractual Value of Commodity Securities (continued)**

The contractual redemption values and movements in unrealised gains/losses during the period/year based on the contractual settlement values are:

Change in Contractual Value	Period ended 30 June	
	2020 Unaudited USD	2019 Unaudited USD
Classic & Longer Dated Commodity Contracts	(209,362,470)	(280,492,939)
Short & Leveraged Commodity Contracts	(75,734,044)	(33,488,523)
	<b>(285,096,514)</b>	<b>(313,981,462)</b>

Contractual Value of Commodity Securities	As at	
	30 June 2020 Unaudited USD	31 December 2019 Audited USD
Classic & Longer Dated Commodity Contracts	4,078,932,911	2,474,746,715
Short & Leveraged Commodity Contracts	577,759,760	277,629,366
<b>Total Commodity Contracts</b>	<b>4,656,692,671</b>	<b>2,752,376,081</b>

Through the mis-matched accounting values, the results of the Company reflect a gain or loss which represents the movement in the cumulative difference between the agreed Contractual Value (based on the formula set out in the prospectus) of the Commodity Contracts and the market price of Commodity Securities. The results of the Company are adjusted through the presentation of a non-statutory and non-GAAP movement entitled 'Adjustment from Market Value to Contractual Value (as set out in the Prospectus) of Commodity Securities'.

The mismatched accounting values are as shown below and represent the non-statutory and non-GAAP adjustment presented in the Condensed Statement of Profit or Loss and Other Comprehensive Income:

	Period ended 30 June	
	2020 Unaudited USD	2019 Unaudited USD
Net Gain Arising on Contractual and Fair Value of Commodity Contracts	285,096,514	313,981,462
Net(Loss Arising on Fair Value of Commodity Securities	(289,927,391)	(310,116,255)
	<b>(4,830,877)</b>	<b>3,865,207</b>

The gain or loss on the difference between the Contractual Value of the Commodity Contracts and the market price of Commodity Securities would be reversed on a subsequent redemption of the Commodity Securities and cancellation of the corresponding Commodity Contracts.

**6. Adjustment from Market Value to Contractual Value of Commodity Securities (continued)**

This gain or loss is transferred to a Revaluation Reserve which is non-distributable and a reconciliation of the movements throughout the period/year is detailed below.

	<b>2020</b> <b>Unaudited</b> <b>USD</b>	<b>2019</b> <b>Audited</b> <b>USD</b>
Balance brought forward at 1 January	(12,096,477)	(29,133,562)
Adjustment from Market Value to Contractual Value (as set out in the Prospectus) of Commodity Securities:		
Period 1 January to 30 June	(4,830,877)	3,865,207
Period 1 July to 31 December	-	13,171,876
	(4,830,877)	17,037,083
<b>Closing balance at 30 June / 31 December</b>	<b>(16,927,354)</b>	<b>(12,096,477)</b>

**7. Fair Value Hierarchy**

The fair value hierarchy levels are defined as follows:

- Level 1 Fair value based on quoted prices in active markets for identical assets.
- Level 2 Fair values based on valuation techniques using observable inputs other than quoted prices.
- Level 3 Fair values based on valuation techniques using inputs that are not based on observable market data.

Categorisation within the hierarchy is determined on the basis of the lowest level input that is significant to the fair value measurement of each relevant asset/liability.

The Company is required to utilise the available market price as the Commodity Securities are quoted and traded on the open market. Where the market on which the Commodity Securities prices are quoted is determined to be active at the relevant reporting date, the Commodity Securities are classified as level 1 financial liabilities. Where the market on which the Commodity Securities prices are quoted is determined to be inactive at the relevant reporting date, the Commodity Securities are classified as level 2 financial liabilities. The Company values the Level 2 Commodity Securities using the unadjusted market price available at each reporting date. This is considered to most appropriately reflect the price at which transactions would occur as at the reporting date.

The Company's rights in respect of Commodity Contracts relate to its contractual obligations to issue and redeem Commodity Securities at set prices on each trading day. These prices are based on an agreed formula (set out in the Prospectus), and are equal to the published NAV's of each class of Commodity Security. Therefore, Commodity Contracts are classified as level 2 financial assets, as the value is calculated using third party pricing sources supported by observable, verifiable inputs.



**7. Fair Value Hierarchy (continued)**

The categorisation of the Company's assets and (liabilities) are as shown below:

	<b>Period ended 30 June 2020 Unaudited USD</b>	<b>Year ended 31 December 2019 Audited USD</b>
<b>Level 1</b>		
Commodity Securities	<b>(2,499,914,270)</b>	<b>(2,735,930,316)</b>
<b>Level 2</b>		
Commodity Securities	(2,173,705,757)	(28,542,244)
Commodity Contracts	4,656,692,671	2,752,376,081
	<b>2,482,986,914</b>	<b>2,723,833,837</b>

The Commodity Securities and the Commodity Contracts are recognised at fair value through profit or loss upon initial recognition in line with the Company's accounting policy. There are no assets or liabilities classified in level 3.

Transfers between levels would be recognised if there was a change in the accounting policies adopted, or should there be changes in circumstances that prevented public information in respect of Level 1 inputs from being available. Any such transfers would be recognised on the date of the change in circumstances that cause the transfer. Transfers between levels may also be recognised if the primary market on which the Commodity Securities prices are quoted was determined to be inactive at the relevant reporting date. The Company considers both the last trade date and trading volumes during the 5 trading days leading up to each reporting date to determine if the market for a particular Commodity Security is active. Transfers as a result of the analysis of the activity levels of the market are identified and recognised at each reporting date. There were no transfers or reclassifications between Level 1 and Level 2 for any of the assets during the year or at the reporting date. As at 30 June 2020 Commodity Securities with a fair value of USD 2,167,538,801 were transferred from Level 1 to Level 2, and Commodity Securities with a fair value of USD 10,325,935 were transferred from Level 2 to Level 1.

**8. Related Party Disclosures**

Entities and individuals which have a significant influence over the Company, either through ownership or by virtue of being a director of the Company, are considered to be related parties. In addition, entities with common ownership to the Company and entities with common directors are also considered to be related parties.

*Fees charged by ManJer during the period:*

	<b>Period ended 30 June 2020 Unaudited USD</b>	<b>2019 Unaudited USD</b>
ManJer Fees	<b>10,184,226</b>	<b>10,227,428</b>

**8. Related Party Disclosures (continued)**

The following balances were due to ManJer at period end:

	As at 30 June 2020 Unaudited USD	31 December 2019 Audited USD
ManJer Fees Payable	<u>3,327,834</u>	<u>2,528,332</u>

At 30 June 2020, USD 2 is receivable from ManJer (31 December 2019: USD 2).

As disclosed in the Directors' Report, ManJer paid directors' fees in respect of the Company of GBP 8,000 (30 June 2019: GBP 8,000).

Steven Ross is a director of R&H Fund Services (Jersey) Limited ("R&H" or, the "Administrator") and Steven Ross is a partner of Rawlinson & Hunter, Jersey Partnership, which wholly owns R&H. Hilary Jones is a consultant representing R&H. During the period, R&H charged ManJer administration fees in respect of the Company of GBP 180,606 (30 June 2019: GBP 166,500), of which GBP 90,303 (31 December 2019: GBP 90,610) was outstanding at the period end.

Peter Ziembra and Stuart Bell are executive officers of WisdomTree Investments, Inc.

**9. Events Occurring After the Reporting Period**

The directors are continuing to closely monitor the advice and developments relating to the spread of COVID-19, particularly with its impact on ManJer, its assets under management, and therefore its related revenue streams, in respect of fulfilling the obligations under the services agreement. The directors acknowledge that any impacts on the amounts reported by the Company, including subsequent movements in the fair value of assets or securities in issue, are non-adjusting from an IFRS perspective.

Other than as noted above, there have been no significant events since the reporting period that require disclosure.